

あとがき

1 月も終わりに近づきこのあとがきを書いておりますが、本号が発刊されるころは花粉症で耳鼻科診療は大忙しのときと思います。ここ数年間の医療の変貌を大学、病院、診療所それぞれの立場で感じられているはずですが、大学病院では昨年の竹中 洋先生（78 巻 12 号・2006 年 11 月号）のあとがきでも触れられていましたとおり、教授、助教授、講師、助手という職名が新しい職名へと変更されることになります。その理由、意味づけはそれなりになされていますが、呼び名が変わる以外、実際は何かどのように変革されるのか明らかなではありません。

さらに学位についても新しい動きがあり、医学部ではこれまで大学院修了後に取得する甲種医学博士といわゆる論文博士である乙種医学博士がいましたが、この乙種を廃止していくというものです。つまり他の学部と同様にするというものです。大学、病院、開業で医学博士を有している医師のかなりの数がこの乙種の形態で取得しているケースが多いはず。耳鼻咽喉科に限らず他科では必ずしも学位取得に固執せず専門医取得を目標とする医師もいることから、この提案が実行されると今後大学の講師以上に必要条件である学位取得者が減少すること、つまり教育職につく母集団の減少という危惧があります。医学部の場合、仕事すなわち診療をしながら関連疾患の研究を行い、まとめていくという作業は大切なことです。医学部における乙種学位の必要性和意義について、いつでも答えられるように今後議論しておく必要性があります。

新臨床研修制度も 4 年目を迎えますが、いくつかの大学を除いていわゆる講座の弱体化が目立ち、それに伴う大学病院の人手不足、地域医療、特に地方・過疎地域の医師の激減は周知のとおりです。これらは医師のみでなく地域の患者さんへも大きなマイナスとなっています。都市部への医師の集中という言葉もよく聞きますが、研修医はそうであっても各科の実際に戦力となる医師はどこも不足しています。大学病院、市中病院、開業と従来はそれなりに人数のバランスがとれていたものが、現状ではお互いにとって不利益な状況が産み出されつつあります。今後この現状をどのように改善し、責任をとっていくのか、制度を考案、施行した部署に是非聞きたいところです。

（吉原俊雄）

編集顧問

大和田健次郎

佐々木 好 久

曾 田 豊 二

坂 井 真

小 田 恂

編集委員

八 木 聰 明

竹 中 洋

吉 原 俊 雄

耳鼻咽喉科・頭頸部外科（第 79 巻 第 3 号）

発 行 株式会社 医学書院

2007 年 3 月 20 日発行（毎月 1 回 20 日発行）

代 表 者 金 原 優

定価 2,730 円（本体 2,600 円＋税 5%）

〔2007 年々ぎめ予約購読料 39,950 円
増刊号を含む 13 冊、税込・送料小社負担〕

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710（担当 西塚・中田）

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802（編集室）

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印 刷 所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・医学書院ホームページ(インターネット)は

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。

・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/> です。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信（送信可能化権を含む）に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・JICIS < (株)日本著作出版権管理システム委託出版物 >

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム (03-3817-5670) の許諾を得てください。